

準備 0 : PCを準備する

- Windows or Mac or ChromeOS or Linux

準備 1 : Gitのインストール

- <https://git-scm.com/downloads>
- ターミナルでバージョンを確認。

```
git --version
```

準備 2 : Gitの初期設定

- ターミナルを開き、下記の項目を入力

```
git config --global user.name 'username'
git config --global user.email 'username@example.com'
git config --global core.editor 'code --wait'
git config --global merge.tool 'code --wait "$MERGED"'
git config --global push.default simple
```

連携手順 1 : VSCodeでローカルリポジトリを作成

- ファイルを格納する空のフォルダを作成
- 作成した空のフォルダを開いた状態で、Gitアイコンをクリックし、「リポジトリを初期化する」をクリック

連携手順 2：ローカルリポジトリにコミットしてみる

- Gitアイコンを押したら、Git管理メニューが表示される。＋マークをクリックするとステージングできる。
- メッセージのところにコミット名を入力し、✓アイコンをクリックすることでコミットできる。

連携手順 3：GitHubにてリモートリポジトリを作成

- GitHubにサインインして、リポジトリを新規作成。
- 作成したリポジトリのURLをコピーしておく。

連携完了：VsCodeからGitHubに接続

- メニューバーの「ターミナル」からターミナルを開く。
- リモートリポジトリの接続コマンドを入力する

```
git init
git add README.md
git commit -m "first commit"
git branch -M main
git remote add origin コピーしたURL
git push -u origin main
```

403エラーが出る場合

- GitHubにサインインして、右上のアカウントアイコンをクリック
- Settingsを開く
- 左のメニューから、<>Developer settingsを開く
- 左のメニューのPersonal access tokensを開き、Fine-grained tokensを開く
- 右上のGenerate new tokenをクリック
- Token name に適当な名前を入力

- Repository accessはAll repositoriesを選択
- Repository permissionsを開く
- Contentsを開きaccesslevelをRead and write を選択
- 一番下のGenerate token をクリック
- 生成されたtokenをコピー（一度しか表示されないので注意）
- VsCodeのターミナルでpush origin main と入力すると初回はダイアログが開くので、tokenの入力画面を開き、コピーしたtokenを入力する。
- pushが成功したことを確認する。